

令和元年度第2回健康いわき推進会議
議事録

保健福祉部健康づくり推進課

令和元年度第2回健康いわき推進会議議事録

1 日 時 令和2年2月6日(木) 15時30分から17時30分

2 場 所 市文化センター 1階 大講義室

3 出席者

(1) 委員 (18人)

| | | | | | |
|----|----|-----|----|-----|----|
| 委員 | 清水 | 敏男 | 委員 | 林王 | 克明 |
| 委員 | 木村 | 守和 | 委員 | 八巻 | 功一 |
| 委員 | 小野 | 栄重 | 委員 | 中島 | 幸江 |
| 委員 | 中山 | 哲志 | 委員 | 大川原 | 由子 |
| 委員 | 高萩 | 周作 | 委員 | 強口 | 暢子 |
| 委員 | 秋元 | 英典 | 委員 | 篠原 | 清美 |
| 委員 | 阿部 | 敏明 | 委員 | 坂本 | 満恵 |
| 委員 | 多田 | 有美子 | 委員 | 箱崎 | 洋一 |
| 委員 | 佐藤 | 一美 | 委員 | 三瓶 | 詔宏 |

(2) オブザーバー (1人)

福島県いわき地方振興局企画商工部 小谷野 繁樹

(3) 事務局 (20人)

| | | |
|----------------|-----------------|--------|
| 保健福祉部 | 部長 | 飯尾 仁 |
| | 次長(兼)総合調整担当 | 柴田 光嗣 |
| | 次長(兼)健康づくり・医療担当 | 園部 衛 |
| 保健福祉部健康づくり推進課 | 課長 | 鈴木 隆宏 |
| | 課長補佐 | 鈴木 英規 |
| | 課長補佐兼統括保健技師 | 永山 美紀 |
| | 健康政策係 係長 | 石山 学 |
| | 健康政策係 主査 | 作山 亜希子 |
| 保健福祉部保健福祉課 | 課長 | 駒木根 通人 |
| 保健福祉部障がい福祉課 | 課長 | 長谷川 政宣 |
| 保健福祉部地域医療課 | 参事(兼)課長 | 藁谷 孝夫 |
| 保健福祉部地域包括ケア推進課 | 参事(兼)課長 | 佐々木 篤 |
| 保健福祉部介護保険課 | 参事(兼)課長 | 鵜沼 宏二 |
| 保健所 | 次長(兼)検査課長 | 吉村 公孝 |
| 保健所総務課 | 課長補佐 | 落合 守代 |
| 保健所生活衛生課 | 主幹(兼)課長補佐 | 門馬 将洋 |
| 保健所地域保健課 | 課長 | 吉野 優子 |
| こどもみらい部 | 次長(兼)総合調整担当 | 中塚 均 |
| 産業振興部 | 次長(兼)総合調整担当 | 渡邊 伸一郎 |
| 教育委員会事務局 | 教育部長 | 高田 悟 |

4 議 題

(1) 協議事項

- ア 健康いわき 21 推進市民大会について
- イ 「健康づくり見える化事業」分析結果一次報告について
- ウ (仮称) いわき市共に創る健康づくり推進条例素案について
- エ いわき市健康長寿百年構想について

(2) 報告事項

- ア 健康いわき 21 (第二次) 改定版の進捗状況について
- イ 健康推進企業普及部会の創設について
- ウ 「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」締結について

※ 議事に先立ち、本日の議事録署名人について、中山委員と箱崎委員が指名された。

5 会議の概要

(1) 協議事項

ア 健康いわき 21 推進市民大会について

| 発言者 | 内 容 |
|-----|-----------------------------|
| | 【事務局からの報告に対し、委員からの質問等は無かった】 |

イ 「健康づくり見える化事業」分析結果一次報告について

| 発言者 | 内 容 |
|-----|--|
| A委員 | 疾患別総医療費ランキングの中で、国保と後期高齢の数字が出ているが、認知症の患者というのはどの分類に入るのか。 |
| 事務局 | 認知症については、神経系の疾患であり、このトップ 10 には入っていない。 |
| A委員 | アルツハイマーとか認知症の人たちはお金を使うリスクは少ないと感じ取ってよいのか。 |

| | |
|------|---|
| 事務局 | あくまでトップ 10 に入っていないということであって、認知症の方々についても医療費はかかっている。トップ 10 には入っていないということだけである。 |
| B 委員 | これは一人に対して一つの病名で統計をとっているのか。 |
| 事務局 | 一人に対してレセプトに入っている診断名を使っている。 |
| B 委員 | <p>今、A 委員から質問があった認知症だが、医療費については薬の処方ぐらいなのでそれほど高くはならない。</p> <p>ただ、介護の費用として認知症が多くかかっているのは間違いないと思う。今回は介護の分析をしていないので出てこないだけだと思う。</p> |
| 事務局 | そのとおりである。今回は医療レセプトのみの分析となっているため、今後介護のレセプトも分析することによりそのあたりが明確に示せるのではないかと思う。 |
| C 委員 | 関連した質問だが、これはレセプトデータの病名からのみ算出しているのか。 |
| 事務局 | そのとおり。 |
| C 委員 | 「その他の悪性新生物」とか「その他」とつく病名は、本当の病名以外の病名なので、これらは外してそれ以外の病名で繰り上げた方がより正確なのではないか。 |
| 事務局 | 今回は金額でランキングを出しているので、「その他の心疾患」の部分は、本来重要である狭心症や虚血性疾患等が含まれていない。生活習慣病に限定したランキングにすることも可能であるため、二次報告の際にはその辺も考慮して分析したい。 |
| C 委員 | <p>レセプトということは、病院なりクリニックに受診した人だけのデータということになる。そうするとこの地区の中でも受診率が低いとか健診を受けていないとかということになるとさらに変化がある可能性があると思う。</p> <p>特に山間部に住んでいる方々は主治医を持っていない方もいるので、さらに強調されてくる恐れもあると思う。</p> |

| | |
|-----|--|
| D委員 | 資料の最終ページ9番と10番のグラフについて、年齢・性別等について調整済みとのことだが、nの数が大きく違っている。こういうデータを比較する時に考慮すべきことは何か。 |
| 事務局 | 統計的に分析する際にn（人数）が100を切る場合だと統計する際にかなり慎重に分析する必要がある。今回どの地区も100を超えていたので、年齢と性を調整してその地区の差がない形にして分析をした。これをさらに性別・年代で分けるとなると比較は難しいと思う。 |

ウ （仮称）いわき市共に創る健康づくり推進条例素案について

| 発言者 | 内 容 |
|-----|-----------------------------|
| | 【事務局からの報告に対し、委員からの質問等は無かった】 |

エ いわき市健康長寿百年構想について

| 発言者 | 内 容 |
|-----|---|
| E委員 | 表の中に、長野県の佐久市との協定締結が記載されている。いわき市の健康状態を改善することにおいて、佐久市の実践からさまざま学ぶことに意義が大きいとすれば、どういうところで佐久市に繋がっていったのか、地域性を比較して、どういう点で良いのか、その辺を紹介してほしい。 |
| 事務局 | 佐久市との協定については、去る1月27日に長野県佐久市といわき市で協定を結んだところである。 佐久市については、昭和30年頃は脳卒中の死亡率が全国ワースト1位であり、佐久総合病院のトップの方を中心に予防医療に長年取り組んできたという歴史がある。 また、保健補導員をはじめ地域ボランティアの方が保健予防活動などを通じて、地域に根差した市民主体の健康づくりを広く浸透させ、今現在は平均寿命が長野県自体で男女トップクラスとなった。その中であって、佐久市は女性の平均寿命が全国第11位、長野県内でも1位であり、地域に根差した市民主体の予防活動や健康づくりの活動を踏まえて健康長寿のまちとなっている。 |

| | |
|------|--|
| | <p>いわき市も現在、かなり健康指標が悪いため、佐久市で行っている個別の具体的な取組みを学ぶというのが一つあるが、その根底にある地域に根差した市民主体の健康づくりの取組みが、歴史的な土壌や取組みで、どのようにしてここまで健康長寿のまちとなったのかその背景を深掘して、いわき市の健康づくり、生活習慣病対策に取り入れたいと考え協定を結ぶこととなった。</p> |
| E 委員 | <p>佐久市の実践がいわき市に取り込めて効果があれば、素晴らしい方法だと思うので、しっかりやってほしい。</p> |
| C 委員 | <p>いわき市の健康状態が悪い原因の一つとして、医療体制がかなり厳しいということがある。医療者側の問題もあるが、もう一つは喫煙率が高い、肥満度が高い、恐らく塩分摂取率が高いということ。</p> <p>提案だが、恐らく、今肥満になってしまった人に何でたばこを吸ってはダメなのか、塩分の取りすぎは何が悪いかなど説明してもなかなか難しいと思う。資料の取組みに記載されているが、子どもへの教育が大切だと思う。学童期に記載されてある、健診事業や食育推進などであるが、健康に対するオピニオンリーダーを地区で作って、それを子どもに勉強してもらい過ごしてもらおうと、ゆくゆくその子ども達もそういったことを守っていくことになると思う。</p> <p>健康に対する教育を子どもの時期からやるというのがすごく大切かと思うが、いかがか。</p> |
| 事務局 | <p>成人への対策も重要だが、当然生活習慣というのは、子どものうちから培われていく、特に教育という意味では非常に重要なことだと思う。</p> <p>今現在も教育委員会において学校の授業の中でそういった取組みはしている。</p> <p>本日出席の関係団体の皆様と連携して具体的な取組みをどうやって進めていけるか考えていきたい。</p> |
| B 委員 | <p>C委員が話された、子どもの健康教育というのは非常に大切だと思っている。</p> <p>四倉久之浜大久地域では、小学校4年生に認知症絵本教室というのを行っている。講義後、子ども達にグループになって話し合ってもらい、認知症になった後期高齢者はどんな気持ちになるだろうとか、自分たちは認知症の人にどんなことがして</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>あげられるかということ話し合うと、非常に優しい気持ちで発表してくれる。</p> <p>そこで大事なのは、子どもがそういった気持ちになることも大事だが、親の世代に資料を持って帰ってもらって、必ず見てもらうように話をしているところである。</p> <p>この取り組みは四倉地区では6～7年くらいになってきているが、ぜひ広げていただきたいと思う。</p> <p>大浦小学校では2年前からガンの特別授業をやっている。後で感想文を先生から見せてもらうと、非常に良くまとまっていて内容を良く理解している。</p> <p>子供への教育というのは親の世代に影響するような活動にすることができるし、子どもが健康に関心のある状況でだんだん大人になっていけば、いわき市民が非常に健康な状態になっているという可能性が出てくると思う。</p> <p>是非、いわきの健康を作るために、子どもの教育を第一に掲げてやってほしい。</p> |
| F 委員 | <p>確かに子どもたちの健康、特に食に対して、またはガン、喫煙に対してというのは大変意識が高いと思っている。</p> <p>その中で気が付くことは、我々から見ると遊び場というか運動する場が本当に減っていると感じる。</p> <p>防犯上の理由があったりするが、なかなか屋外にでて体を動かす、歩く、自転車に乗ることが少ない。自分たちの頃は自転車があればどこへでも行ったが、今の子はなかなか自転車に乗らず歩いて行ける距離にしか行かなくなっていると思う。</p> <p>歩いていける距離にはコンビニもあるし、友達もいればスマホで遊べるのでそこで完結できてしまう。その辺は我々としても考えなければいけない部分があると思う。</p> <p>もう一つはコンビニでの買い食いに対して、子どもたちにどういった買い物をしたらあまり肥満に繋がらないか、ポテトチップス一袋を何回に分けて食べたほうが良いといった教育をしていくなどの活動を今後考えていきたいと思う。</p> |
| G 委員 | <p>子どもに対する教育という話で盛り上がっているので、来年度実施したい計画を紹介したい。</p> <p>いわき市は肥満度が高くジェネリック薬品の使用割合が低い地域であるということの子世代から親世代に進めたいことから、冊子を作製して配布したいと計画している。</p> |

(2) 報告事項

ア 健康いわき 21（第二次）改定版の進捗状況について

イ 健康推進企業普及部会の創設について

ウ 「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」締結について

| 発言者 | 内 容 |
|------|--|
| B 委員 | <p>1 健康いわき 21（第二次）改定版の進捗状況について 訪問型短期集中予防サービス事業について、管理栄養士や歯科衛生士等の訪問している数が非常に少ないが、実は介護保険上で管理栄養士が出せる事業所がないからである。 今の制度上、非常に動きにくい分野なので、是非重視して、もう少し数が増えるように取組んでいただきたい。</p> <p>2 佐久市との連携協定について いわき市で評価が低い事業に関して、佐久市との連携でどういう風にしていくのか、新たに事業としてやっていきたいものがあるのか、今考えられているものがあれば紹介してほしい。</p> <p>3 健康推進企業普及部会について マルトはじめスーパーマーケットが入っているが、塩分制限というのは市民教育をしても簡単には進んでいかない。 例えば外食店だとかコンビニだとかの業界の方たちと一緒に野菜が多いメニューを充実させていくとか、あるいは塩分を徐々に下げていくとかが大切だと思う。 関係する店の方に集まってもらい意思統一をしないとできないと思うが、いわきの健康状況を改善するためには非常に意義があると思うので、是非部会の方で取り上げてしてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>2 点目の佐久市との協定について、「ぴんころ運動」として減塩、適塩のぴんころ食などは地域ボランティアの方も推進して市民へ普及している部分もあるので、食や運動を中心にいわき市に取り入れられるようなものは取り入れ、場合によっては佐久市から関係者を招いて市民を交えた交流を図っていければと考えている。</p> <p>3 点目の普及部会については、消費者に身近な商業施設が入っており、いろいろ提案をいただきながら連携を図り、産業振興部からもアイデアをもらいながら市民の健康づくりを推進する取組みを進めていきたい。</p> <p>メンバーについても、これで固定といったわけではないので、柔軟に対応していきたいと思う。</p> |

(3) その他

| 発言者 | 内 容 |
|-----|--|
| H委員 | <p>新型コロナウイルスについての動きを説明してほしい。 我々企業活動している身としては従業員の健康確保が喫緊の課題になっている。</p> |
| 事務局 | <p>新型コロナウイルスの対策として、厚生労働省及び県からの連絡に基づいて、医療機関に対し発熱または呼吸器症状を訴える方へ中国武漢市の渡航歴を聴取するとともに院内感染対策の徹底及び積極的な検査の実施を依頼している。</p> <p>市民に対しては感染予防策と受診方法についてホームページにて周知し、市内の事業者等に対しては、外国人労働者への周知及び中国への出張等の留意事項の情報提供も行っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策いわき地域医療会議を開催し、関係機関等で情報共有を図ったところである。</p> <p>医療機関向けのページを新設したが、今後に向けては帰国者、接触者外来及び帰国者、接触者相談センターの設置を予定している。</p> |
| B委員 | <p>新型コロナウイルス疑い症例という定義が2月3日以降拡大されて、武漢市を含む湖北省の方となったのと、肺炎の方としていたのが、急性呼吸器症状の方となった。</p> <p>心配のある方はまず保健所に連絡してほしい。保健所が聞き取りをし、非常に疑わしいと思われる場合は対応ができる医療機関での受診を進める。そういう疑い症例の枠に入らない方であれば、違う医療機関となるが、まず保健所に相談してほしい。</p> <p>中国方面に旅行された方や中国から来た方と接触された方が心配していて、各医療機関や保健所への問い合わせが多いと聞いている。</p> <p>我々としては疑い症例の定義がないような患者についてはできるだけ診療拒否をしないで診察できるところで診ようと、市内の各医療機関に連絡をしているところである。</p> <p>もう一つは、秋田の医療機関では、こういうときはこうしてくださいといった内容の中国語と日本語で記載された掲示物を貼っているらしいとの情報を得たので、今、県医師会を通じ、張り紙などを掲示した方がいいか調べているところである。</p> <p>もう一つ関連事項として、マスクだが、報道も過熱していて</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>C 委員</p> | <p>本当に使うべきところに回らなくなっている恐れがある。</p> <p>我々としても各医療機関にマスクの買い占めをやめてほしいと伝え、マスクを売る職種の方々へも、いつも納品している所に十分出せるように考えて販売してもらおうよう県医師会へ相談したところである。</p> <p>関連となるが、一般的にどういったことをしたら良いのかお伝えしたい。</p> <p>とりあえず飛沫感染と糞口感染というのが言われている。</p> <p>要するに便からでてそれが口に入って感染するので、とりあえず手洗いはする。</p> <p>また人の出入りが多いところの取手とかボタンとかをこまめに掃除した方が良いと思う。アルコールを使って掃除すると大抵大丈夫だと言われているが、今アルコールも随分品薄で、実はハイター等がかなり強力な殺菌効果がある。ハイター等は残っているらしいので、そういったものを使えば効くと思う。</p> <p>マスクはこまめな交換はいいのは分かっているが、今このような状況なので、あまりやりすぎは良くない。</p> <p>トイレ掃除は不特定多数の方が来るような場所はこまめに掃除して、取手やトイレの水道の蛇口などはアルコールやハイター等を使ってこまめに掃除する。あとはエレベーターとか手すりとかドアノブとかを清掃していくことが大事だと思う。</p> |
| <p>I 委員</p> | <p>先ほどから長野県佐久市のことが言われているが、我々は1年ぐらい前から佐久市のことは知っていた。</p> <p>佐久市の市民ボランティアというのは我々の仲間である。その方が市内を回って歩いている。</p> <p>我々とは違い佐久市の会員は市からの委嘱だと聞いた。我々は会費を払って会を運営している。PRが少ないせいか、毎月19日にマルトなどで減塩、野菜を食べようというチラシを配る活動をしているが、それがなかなか市民に繋がっていない。</p> <p>健康は自分のためである。自分が自覚しなければ駄目だと思う。健康というのは規則正しい食生活、軽い運動、最後は社会参加だと思う。佐久市と交流をする時には我々も入れていただき、話し合いの場を設けて向こうの話を聞いてみたいと思う。</p> |

本議事録に相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和2年2月28日

議事録署名人

中山 哲志 ⑩

議事録署名人

箱崎 洋一 ⑩

(印 影 省 略)